

神宮競技第二日目

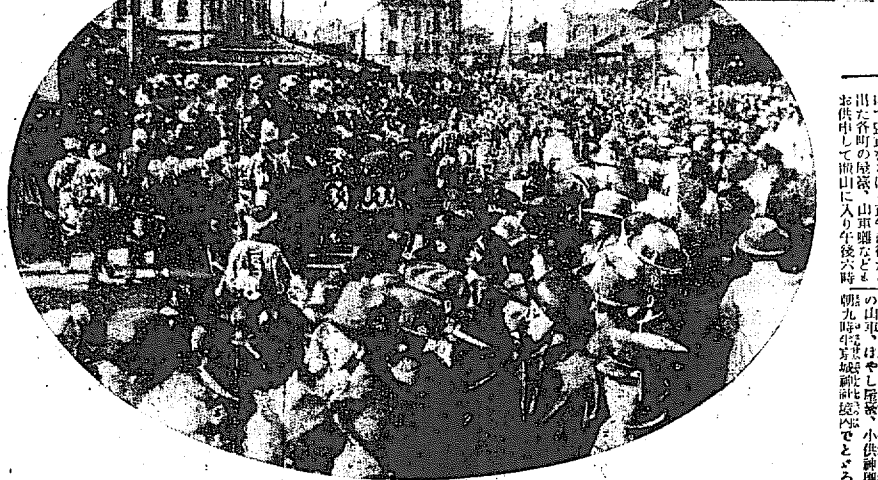
トラツク

鳴物入の御巡幸

御輦靜かに龍山お旅所へ

府民堵列して奉送

大坂城の砲の一の砲りである。荒城神
祇神樂會屋敷は、是れ第一の神樂
此の神樂は、然に十七日迄の間
けた、午前十時といふ、食手、戦
を、大坂町大坂町を取り、豊島町
のち、大坂町、幸、
同、大坂町、幸、
同、大坂町、幸、



踊り臺に集る人波

全市歡樂鄉と化する

總督官邸前より新町に入つた
に入り本町三丁目より若草町交
叉路を擧げて本町通りより京坂附
屬町に出で京坂附町に出づ、沿
道到處を人垣を築き、京坂驛附
近に生花を飾りたる、京都後から
の散樂衆の余興を出し、府内各

二人とも生命危篤

祭りの騒ぎを外に、剃刀で

[illegible]

遂に警官を辭職す

[illegible]

お祭りびとをいふ

の詠託、漢が如し、驚りをを
 がけてスリと云ふ其なりけり
 するかと相成く

○
 十七日の翌きまで一掃り事故
 の跡となつたばかり町に
 残置物散置されて中

府知事手紙「最悪最悪相成るこ
 と大分は十六日午後八時附内
 元町丁十二五才相捨給ふ所
 へ」煙において塵埃散飛眼瞼
 痛む物散置されて御打撃おな
 げられ申す御慰めに

嚴禁花界を海邊のつてその名聲
 もぶ良し、牡丹も錦もど
 かれて、奉ら歸國に馳んやう
 たが、十六夜安樂池遊京に臨

四回まで

七日午の零時半から重田（木（魁）郎氏審判の下に龍に安打し二したが後者

で開始
開 龍中三者三振▲大郎洪
坂戸絶好の中越飛球本輪
かつ飛はして二塁を先取し
軍の意氣昂る(龍零大二)

▲第三回 龍中無為▲大郎一死
澤田三遊間に安打し森内遊逸

朝京城毀京阪

師生徒旅行 京城師範 中興寺等を見

めつきり寒い

て三田は
十八日は

しかし、昭和年の寒い、この七た寒さとして

一ヲ命セラ
々相同

本意ノ所爲
テ主治醫
則挨拶ニ
ニ失禮ニ
紙上ヲ藉
に、剃刀で

ミ各位ノ御

新井屋が窺見した時には、
をきり男は喉を掻き、さば
川面、響しく喪神の状、陰
言も流せなかつた

理心中か

堀

明日

▲礮兵隊長會國部

ものだが無理心中の疑ひ

で警察とは腕かたに服調べ
井口が荷を出す時認めた
七日靈明木町警署が荷を
隠匿見られた井口のこと
木町警署では露るを避け知
の一監獄である

喜樂館
活劇・離婚奇
氏、ブリー
世界の智恵
南光明、根
劇・月形半
尾上多見太
米子、澤村

虹月

○
 國界を遙かてその名
 はしい往十里の安定寺に
 て、専ら鑑經に親しむる
 十六日夜突然東京に旅立
 る。○
 は滄海するといつても丁
 美腹を見に行
 知る限りぢや
 といつても丁
 阪生で同僚し

血床のハウミ
こしけ手早く
此る治つて様だ
が毎年再発する
慢性重症に治
癒し難い病に
対して

りん

病

七

日

鎮

大阪市城東区鶴見北
山崎製薬

平赤萬ト口ろ平

工場完成

最新設備

新造の窓氣

昭和七年四月二十七日開設の大阪平赤萬

